

情報科学 (Information Science)

情報科学入門 (Introduction to Information Science)

(医・工((医C・機C・生B)1年))

鈴木雄一郎・准教授/四国大学

2単位 前期 木 3・4

(平成19年度以前の授業科目:『情報科学』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『情報科学』)

【授業の目的】 コンピュータ, 特にパーソナルコンピュータ(PC)においては, 既に理工系で扱う複雑な科学技術計算だけでなく, 日常の大学生活でも必要不可欠なツールとなっている。また今日の社会では, PCを利用した基礎的能力(リテラシー)を前提に, 手続きや報告が行われるように進められている。本講義ではPCの初心者を対象にPCの基本的な操作方法, 一般的なアプリケーション・ソフトの操作方法, インターネットを活用した情報処理といったものを習得する。つまり大学生活や社会生活の中で当然, 必要となる「情報リテラシー」を身につけることを目的とする。この講義では, 高校の教科「情報」で学んだPCの操作を習得することに加え, PCを効果的に利用して自分の意見や考えをアウトプットできるようになることを目指します。

【授業の概要】 社会での普及率が高いMicrosoft Windowsを基に, やはりアプリケーションとして普及率の高いMicrosoft Officeを中心, にPCのオペレーションを身につける。またOfficeのアプリケーションと連携して, インターネットを利用した操作も同様に身につける。基本的なアプリケーションとネットワークに関する知識と操作を身につけ, 情報を活用するための基礎を準備する。

【キーワード】 情報リテラシー, インターネット, 情報検索, プレゼンテーション, オフィス・ツール

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 現代社会において必須の情報技術であるネットワーク・パーソナルコンピュータの基礎的な利用・応用技術を身につける。

【授業の計画】

1. ガイダンス Windows XP と Office2010 の基礎 (1)
2. Windows XP と Office2010 の基礎 (2)
3. ワードプロソフト Microsoft Word2010 の利用法 (1)
4. ワードプロソフト Microsoft Word2010 の利用法 (2)
5. ワードプロソフト Microsoft Word2010 の利用法 (3)
6. インターネットの基礎 (1)(WWWブラウザの利用法)
7. インターネットの基礎 (2)(電子メールの利用法)
8. インターネットの基礎 (3)(ネチケットについて)

9. 表計算ソフト Microsoft Excel2010 の利用法 (1)
10. 表計算ソフト Microsoft Excel2010 の利用法 (2)
11. 表計算ソフト Microsoft Excel2010 の利用法 (3)
12. プレゼンテーションソフト Microsoft PowerPoint2010 の利用法 (1)
13. プレゼンテーションソフト Microsoft PowerPoint2010 の利用法 (2)
14. プレゼンテーションソフト Microsoft PowerPoint2010 の利用法 (3)
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 『情報科学入門 ーソフト操作編ー』 学術図書出版 2000 円

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 授業中に出す課題 (40%), 学期末試験 (30%), および授業への取り組み状況 (30%) 等を元に総合的に評価する (ただし, 評価割合の目安は括弧内パーセントである)。

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 初心者を対象としての講座になります。まったくの初心者であっても恐れる必要はありません。学業・研究・社会活動のためにPCを自在に扱えるようになることを期待します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220976>

【連絡先(オフィスマナー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 鈴木。

Information Science

Introduction to Information Science

(医・工((医C・機C・生B)1年))

Yuichiro Suzuki · ASSOCIATE PROFESSOR / SHIKOKU UNIVERSITY

2 units 前期 木 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『情報科学』) (平成 16 年度以前(医保は 17 年度以前)の授業科目:『情報科学』)

Target) コンピュータ, 特にパーソナルコンピュータ(PC)においては, 既に理工系で扱う複雑な科学技術計算だけでなく, 日常の大学生活でも必要不可欠なツールとなっている. また今日の社会では, PC を利用した基礎的能力(リテラシー)を前提に, 手続きや報告が行われるように進められている. 本講義では PC の初心者を対象に PC の基本的な操作方法, 一般的なアプリケーション・ソフトの操作方法, インターネットを活用した情報処理といったものを習得する. つまり大学生活や社会生活の中で当然, 必要となる「情報リテラシー」を身につけることを目的とする. この講義では, 高校の教科「情報」で学んだ PC の操作を習得することに加え, PC を効果的に利用して自分の意見や考えをアウトプットできるようになることを目指します.

Outline) 社会での普及率が高い Microsoft Windows を基に, やはりアプリケーションとして普及率の高い Microsoft Office を中心, に PC のオペレーションを身につける. また Office のアプリケーションと連携して, インターネットを利用した操作も同様に身につける. 基本的なアプリケーションとネットワークに関する知識と操作を身につけ, 情報を活用するための基礎を準備する.

Keyword) *information literacy, internet, information retrieval, presentation, オフィス・ツール*

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) 現代社会において必須の情報技術であるネットワーク・パーソナルコンピュータの基礎的な利用・応用技術を身につける.

Schedule)

1. ガイダンス Windows XP と Office2010 の基礎 (1)
2. Windows XP と Office2010 の基礎 (2)
3. ワードプロソフト Microsoft Word2010 の利用法 (1)
4. ワードプロソフト Microsoft Word2010 の利用法 (2)
5. ワードプロソフト Microsoft Word2010 の利用法 (3)
6. インターネットの基礎 (1)(WWW ブラウザの利用法)
7. インターネットの基礎 (2)(電子メールの利用法)
8. インターネットの基礎 (3)(ネチケットについて)

9. 表計算ソフト Microsoft Excel2010 の利用法 (1)
10. 表計算ソフト Microsoft Excel2010 の利用法 (2)
11. 表計算ソフト Microsoft Excel2010 の利用法 (3)
12. プレゼンテーションソフト Microsoft PowerPoint2010 の利用法 (1)
13. プレゼンテーションソフト Microsoft PowerPoint2010 の利用法 (2)
14. プレゼンテーションソフト Microsoft PowerPoint2010 の利用法 (3)
15. 期末試験
16. 総括授業

Textbook) 『情報科学入門 ーソフト操作編一』 学術図書出版 2000 円

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 授業中に出す課題 (40%), 学期末試験 (30%), および授業への取り組み状況 (30%) 等を元に総合的に評価する (ただし, 評価割合の目安は括弧内パーセントである).

Re-evaluation) 無

Message) 初心者を対象としての講座になります. まったくの初心者であっても恐れる必要はありません. 学業・研究・社会活動のために PC を自在に扱えるようになることを期待します.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220976>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Suzuki .